

各位



平成 28 年 6 月 10 日
会社名 株式会社テンポスバスターズ
代表者名 代表取締役社長 平野 忍
(コード番号：2751 JASDAQ)
問合せ先 乙丸 千夏
TEL 03-3736-0319(代表)

連結子会社（キッチンテクノ株式会社）の業績に関するお知らせ

当社連結子会社のキッチンテクノ株式会社（代表取締役社長：平野忍 本社：東京都新宿区）は、本日付けで平成 28 年 3 月期通期の業績を下記の通りお知らせします。

平成 28 年 3 月期 通期決算の業績（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 28 年 3 月期	3,205	99	103	191
平成 27 年 3 月期	3,990	28	36	△67
増減率	△19.6%	243.2%	186.4%	-

*平成 27 年 7 月より、当社の連結子会社となりました。

当期におきましては、スーパーマーケットへの販売が好調でした。単身世帯や高齢者が増加したことで、スーパー内のイートインスペースの充実を目的とした、ベーカリーショップの出店や、総合スーパーから専門の食品スーパーへの業態転換が増えたことで、当社の厨房機器販売の受注数も増加致しました。

これらの背景に加えて、テンポスグループとの連携を活かした提案営業を行うことで業績の底上げに成功しました。具体的には、居抜き物件を中心とした不動産物件情報の提供や、椅子やテーブル、食器調理道具を顧客に提案することで、大手スーパーチェーン店の新規開拓や、既存顧客との連携強化に成功しました。

これらの取り組みから、当期の売上高は 32 億 5 百万円（前年同期比 19.6%減）、営業利益 9 千 9 百万円（同 243.2%増）、経常利益 1 億 3 百万円（同 186.4%増）の業績をあげました。減収増益の要因としては、外食業界において、円高による原材料の高騰や、人材不足による採用コストの増加などの問題により、主要顧客である外食チェーン店が新規出店を抑制し、既存店の強化に力を入れたことから、当社の厨房機器販売の受注件数も減少した理由が挙げられます。そのため、外食チェーン店の出店状況に左右されない営業体制の構築、人材育成が今後の課題となります。

以上